

NEWS RELEASE

令和3年11月2日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
広報室

ライフル射撃・クライミング・バイアスロン
3 競技団体とアスリート育成連携地域が決定

日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL）が設置するハイパフォーマンススポーツセンター（以下「HPSC」という。）では、アスリートパスウェイの戦略的支援事業の一環として、令和元年度より、「競技別コンソーシアムによる地域パスウェイの整備」委託事業を行っています。本年5月に二か年度事業として公募を行い、ライフル射撃・クライミング・バイアスロンの3競技団体への委託が決定しました。また、これらの競技団体と連携し、アスリートの育成環境を構築するアスリート育成連携地域が以下の通り決定しました。

【令和3年度 受託団体およびアスリート育成連携地域一覧】

受託団体名	アスリート育成連携地域
公益社団法人日本ライフル射撃協会	岐阜県・福岡県・佐賀県・長崎県
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会	千葉県・岡山県・福岡県
一般社団法人日本バイアスロン連盟	岩手県

連携する地域の選定にあたっては、JSCが運営するワールドクラス・パスウェイ・ネットワーク（以下「WPN」という。）に加盟している地域タレント発掘・育成事業（以下「地域TID事業」という。）実施地域に、連携希望や練習環境のアンケートを実施し、様々な要素を検討して決定しました。これにより、本事業を通して中央競技団体（以下、「NF」という。）と育成システム構築を推進する地域は、北海道美深町、岩手県、山形県、福島県、栃木県、千葉県、埼玉県、静岡県、**岐阜県**、愛知県、鳥取県、京都府、和歌山県、広島県、**岡山県**、山口県、高知県、愛媛県、福岡県、**佐賀県**、**長崎県**、宮崎県の計22地域となりました。 ※太字は新連携地域

JSCは、将来オリンピック・パラリンピック競技大会で活躍するアスリートが育成される道筋、「アスリート育成パスウェイ」の構築を目指しています。本事業は、JSCから中央競技団体に委託し、地域TID事業および都道府県競技団体からなる競技毎のコンソーシアムを形成し、各競技に関する育成環境（練習環境、コーチ等）、競技大会などを整備し、地域からNFの強化・育成プログラムへと繋がるパスウェイの整備を行っております。

■ 日本スポーツ振興センターホームページ

<https://www.jpnsport.go.jp/>

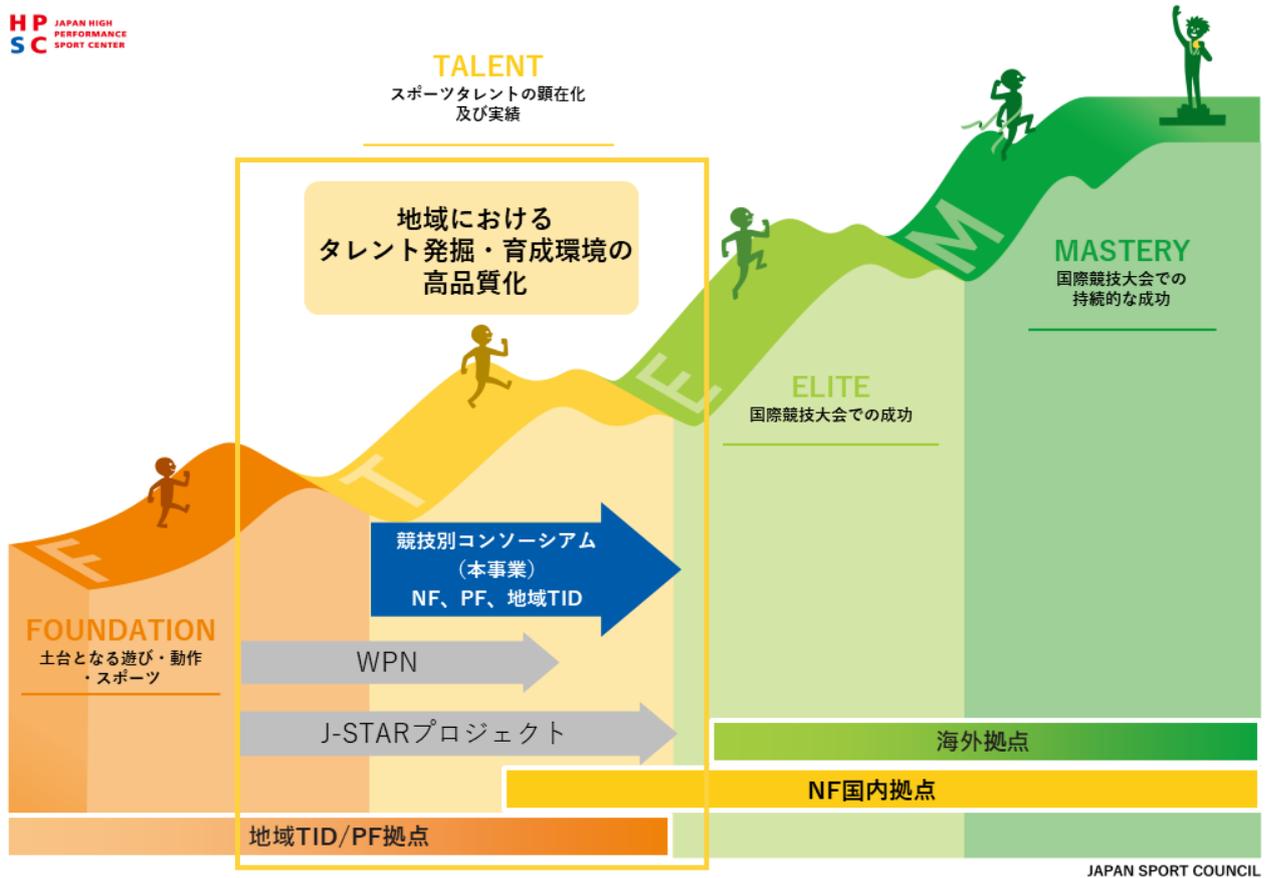
■ ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）ホームページ

<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/>

事業概要

【目的】

地域の有能なタレント又はアスリートから中央競技団体が育成するナショナルタレントへのパフォーマンス移行を支援するプログラムの整備を行い、強固で持続可能なアスリートパスウェイの構築に貢献する。



「競技別コンソーシアムによる地域パスウェイの整備」イメージ図